

【主催】沖縄大学地域研究所
【企画】ウクライナ避難民有志

戦禍のウクライナより。

『発行されなかった卒業証書展』は、世界各地に避難しているウクライナ人たちが、志をひとつに立ち上げた企画展です。

祖国ウクライナではロシアの全面侵略によって、多くの若ものが夢半ばで突然人生を奪われています。本展示会では、卒業証書を受け取ることができずに逝った仲間たちの肖像に、それぞれの趣味や夢を記し加えることで、ひとり一人の「卒業証書」として展示しています。



コトルベイ・テチャーナ
享年20歳

明るく親切で、ボーイフレンドを愛していた。コンピュータサイエンスの修士号取得を目指していたが、2022年3月11日、ロシアの砲撃が自宅を直撃

発行されなかった 卒業証書展

2025
12/20(土)～23(火)
入場無料

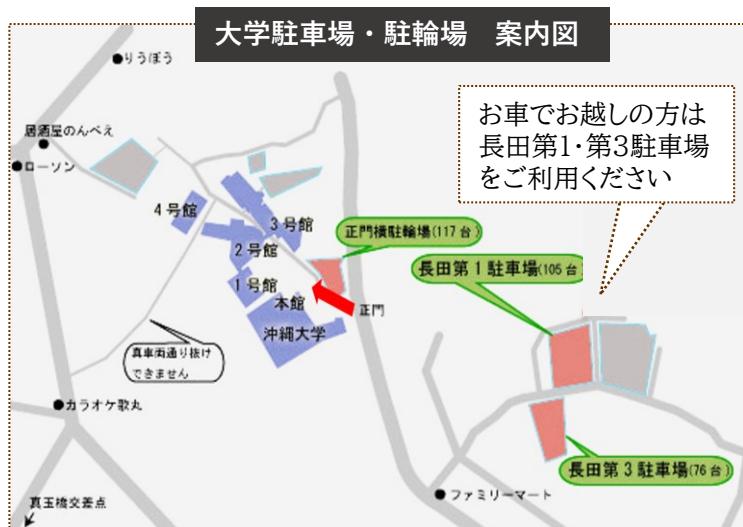


プロコペンコ・ダニーロ
享年19歳

趣味はサイクリング。社交的なITマンで、いつも喜んで他人の手助けをしていたが、2022年5月4日、砲撃で頭部を負傷し苦しみながら亡くなった

いのちの数だけ
夢があった。

【時間】10:00～17:00 ※最終日は16時まで
【会場】沖縄大学 本館1F ホワイエ
(那覇市字国場555 ※バス停「沖縄大学前」)



お問い合わせ :

►沖縄大学地域研究所 (那覇市字国場405)
① 098-832-5599
✉ chiken-staff@okinawa-u.ac.jp





沖縄大学

2025 12/20(土)～23(火)

発行されなかった 卒業証書展

写真とメッセージの展示会

『発行されなかった卒業証書展』は、軍事侵攻で命を奪われた40名の学生の声を世界に届ける展示会です。40名の専門学校生、大学生および大学院生は、それぞれ多くの夢を抱き、自分自身とウクライナの明るい未来のために学業や仕事に励んでいました。しかし、戦争によって、彼らの人生は突然奪われ、その夢も努力も途中で絶たれてしましました。

この40名の中には、占領された故郷から安全な地域へ避難する途中で撃たれた学生、国を守るために軍に志願して前線で亡くなった学生、自宅がミサイル攻撃を受け瓦礫の下敷きになって命を落とした学生もいます。

その学生は実際の卒業証書を受け取ることはできませんでしたが、彼らの記憶を守るために、本展示会では「卒業証書」という形で、それぞれの学生の趣味や夢、将来やりたかったことを記しています。

「発行されなかった卒業証書展」を通じて、軍事侵攻によって奪われた命の一人ひとりに顔があることを世界に伝え、ウクライナへの支援を呼びかけることを目的としています。

———— * ————— * ————— * ————— * ————— * ————— * ————— * ————— * —————

日本における開催の経緯

避難民有志グループ／日本担当
マリヤ・ボンダレンコ



私はウクライナ東部のハルキウ出身で、キーウ・モヒーラ・アカデミー国立大学で国際関係を専攻していました。

2022年の5月、避難民受け入れプログラムを経由して日本に避難し、神戸のコミュニカ学院で日本語を学び始めました。そんな中でも、ウクライナで起こっている戦争の現状を日本の方々に伝えるため、2023年2月、「発行されなかった卒業証書展」を初めて神戸で開催し、以降、日本全国の学校や大学で同展示を開催しています。

2023年の8月から12月までは一時帰国し、在ウクライナ日本大使館に短期間勤めた後、再び日本に戻り、JICA（国際協力機構）ウクライナ支援室でのインターンシップを経て、ウクライナ学生支援会（JSUS）に1年勤務、その後はウクライナでの事業展開を進めている山形県の鉄骨部材メーカー（メタルプロダクツ社）のサポートにも携わるようになりました。

現在はウクライナに帰国して、ウクライナと日本及び世界をつなぐための架け橋になろうとしています。ウクライナで起こっている現実を、この機会にご覧いただき、ご関心をもっていただけたら嬉しいです。

※天候や不可抗力等により予告なく内容を変更・中止することがあります。予めご了承ください